

2025 年 1 月 24 日
商 工 中 金

企業理念体系の改訂および 役職員が共有する価値観と行動の原点「CHUKIN Way」の制定について

商工中金は、PURPOSE「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。」の実現に向けて、企業理念体系を改訂するとともに、役職員が共有する価値観と行動の原点となる「CHUKIN Way」を制定しましたのでお知らせします。

1. 企業理念体系の改訂

新たな企業理念体系では、「倫理憲章・コンプライアンス行動基準」によるコンプライアンスの遵守をすべての土台と位置づけ、新たに制定した行動の原点「CHUKIN Way」をもとに、商工中金が果たす使命である「MISSION」を遂行し、「PURPOSE」の実現を目指していくという私たちの想いを表しました。

外部環境、内部環境が大きく変化するなか、商工中金としての存在意義を見つめなおし、コンプライアンスの遵守を礎としながら、ステークホルダーの皆さまからの信頼と共感が得られるような取り組みを継続していくことで、これからもサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

【改訂後の企業理念体系】



2. CHUKIN Wayの制定について

商工中金は2022年にPURPOSE・MISSIONを制定し、それらの自分ごと化を進めるため、全役職員を対象とした「パーパスワークショップ」を継続的に開催しています。同ワークショップでは、私たち一人ひとりが中長期的に実現したい姿「マイパーパス」を策定するなど、PURPOSEを中心とした価値観の醸成に力を注いでいます。これまでの取組みにより、役職員のPURPOSEの理解度は9割を超えている反面、実践度（PURPOSEを行動に落とし込んでいる職員）は約6割にとどまり、日常業務とのつながりを感じにくいといった声も多く、課題と捉えています。この課題に対し、PURPOSEをより具体的で、身近なものとするため、役職員が共有する価値観や行動の原点の制定に向けたプロセスを2023年より開始し、このたび「CHUKIN Way」として制定しました。

3,500名を超える役職員から様々な仕事にまつわるエピソードが寄せられ、それら一つひとつをもとに当金庫が大切にしてきた価値観を紡ぎました。その結果、私たちは中小企業による中小企業のための金融機関として、一人ひとりが「想い」をもって寄り添い、ともに歩んできたことを、価値観として再認識しました。「CHUKIN Way」では、そのような大切にしてきた価値観やDNAを言語化するとともに、中小企業が抱えるさまざまな課題に広く柔軟に対応できる組織となるべく、未来に向けて必要となる価値観も加えて編纂し、それらを表す5つのストーリー構成としています。

行動の原点

CHUKIN Way

1. すべては、想いから始まる。

2. 変化に、向き合う。

3. 革新を、私から。

4. 仲間とともに、仕事をつなぐ。

5. 真摯に、想いを成し遂げる。

- ・ PURPOSE 実現のすべての起点は、一人ひとりが大切にする「想い」であり、
- ・ 役職員はお客さまを取り巻く社会や時代の変化を自分ごととして向き合い、
- ・ 今までの金融を超えるために、革新に向けて新たな一歩踏み出し、
- ・ 志をともにする仲間とともに、支え合いながら、
- ・ 覚悟をもってひたむきに想いを形にしていける。

このような価値観と行動の原点を「CHUKIN Way」として示すことで、商工中金は役職員一人ひとりの行動を後押しし、お客さまが抱える経営課題をともに解決できるパートナーとして、「想い」をもとに、「変化につよい社会」の実現に貢献してまいります。